

## 入札（見積）結果調書

令和 3 年度

契約番号	第73-21-00079号		
件名	定山溪浄水場排泥池スラッジ搬出業務		
入札(見積)年月日	令和 3年 5月 26日	午前10時 10分	
入札(見積)場所	水道局総務部総務課入札室		
落札(決定)金額	4,180 円 / m <sup>3</sup>	主管課	73 白川浄水場
	入札(見積)価格に 10%に相当する額を加算した金額が法律上の落札(決定)金額である。	最低制限価格	
工種(業種)	290 その他		円
落札(決定)業者	60000084330 北海道衛生工業(株)		

入札（見積）経過

(単位: 円)

指名(見積)業者名	入札(見積)金額						価格交渉金額
	第1回	最 低	第2回	最 低	第3回	最 低	
		金 額		金 額		金 額	
(株) 公清企業							
		4,000					
北海道衛生工業(株)							落札
		3,800					

(備考)

単価契約



## 入札（見積）結果調書

令和 3 年度

契約番号	第74-21-00065号		
件名	水質情報管理システム更新におけるデータ出力業務		
入札（見積）年月日	令和 3年 5月 26日	午前10時 15分	
入札（見積）場所	水道局総務部総務課入札室		
落札（決定）金額	3,465,000 円	主管課	74 水質管理センター
	<small>入札（見積）価格に 10%に相当する額を加算した金額が法律上の落札（決定）金額である。</small>	最低制限価格	
工種（業種）	290 その他		円
落札（決定）業者	A0000005012 富士通 J a p a n （株）北海道支社		

入札（見積）経過

(単位：円)

指名（見積）業者名	入札（見積）金額						価格交渉金額
	第 1 回	最 低	第 2 回	最 低	第 3 回	最 低	
		金 額		金 額		金 額	
富士通 J a p a n （株）北海道支社							決定
		3,150,000					
(備考)							



a03742100065a

札幌市水道局

## 業者特定理由書

下記の理由により見積事業者を特定する。

### 記

- 1 件名 水質情報管理システム更新におけるデータ出力業務
- 2 事業者名 富士通Japan株式会社 北海道支社
- 3 特定理由

本システムは自動水質計器で測定された水源・給配水等の様々な水質情報を、中間サーバを経て収集・データベース化し、これらを情報処理することにより、常時水質監視等を行うシステムである。

上記業務は、本システムのデータベースより全テーブルの全データの出力を行うものである。

本システムのソフトウェアは著作権法で保護され、富士通Japan(株)がパッケージソフトウェアを本市用にカスタマイズしたものである。また、財務課所管のサーバ機器に当該業者がソフトウェアを組み込み、設置・設定作業を行っているため、本システムのプログラム構造等は当該業者以外には知りえない情報である。

以上より、上記業者以外では本業務を履行することができない。

- 4 根拠規定

地方公営企業法施行令第21条の14第1項第2号に該当すると判断されるため。

備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

# 入札 (見積) 結果調書

令和 3 年度

契約番号	第36-21-00087号		
件名	新発寒・発寒幹線流量送信器ほかテレメータ設備点検業務		
入札(見積)年月日	令和 3年 5月 26日	午前10時 15分	
入札(見積)場所	水道局総務部総務課入札室		
落札(決定)金額	1,320,000 円	主管課	36 配水センター
	<small>入札(見積)価格に 10 %に相当する額を加算した金額が法律上の落札(決定)金額である。</small>	最低制限価格	
工種 (業種)	290 その他		円
落札(決定)業者	60000039790 札幌日信電子 (株)		

## 入 札 ( 見 積 ) 経 過

(単位：円)

指名 (見積) 業者名	入 札 ( 見 積 ) 金 額						価格交渉金額
	第 1 回	最 低	第 2 回	最 低	第 3 回	最 低	
		金 額		金 額		金 額	
札幌日信電子 (株)							決定
	1,200,000						
(備考)							



## 業者特定理由書

下記の理由により見積事業者を特定する。

### 記

1 件 名

新発寒・発寒幹線流量送信器ほかテレメータ設備点検業務

2 事業者名

札幌日信電子株式会社

3 特定理由

本業務の対象となるテレメータ設備は、遠隔地にある機器の計測値を伝送するものであり、ポンプ場・配水池・配水幹線の運用に必要不可欠な重要な設備である。

当該業務は、製造メーカーの技術基準に基づいた点検、調整、良否判断を求めており、製造者が保有する機器独自の設計データがなければ、機能診断及び劣化診断における良否の判断が不可能である。

標記事業者は、上記の履行条件を満たす唯一の事業者である。

4 根拠規定

地方公営企業法施行令第21条の14第1項第2号に該当すると判断されるため。

備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

# 入札（見積）結果調書

令和 3 年度

契約番号	第74-21-00055号		
件名	豊平峡ダム及び定山溪ダム水質調査業務		
入札(見積)年月日	令和 3年 5月 26日	午前10時 15分	
入札(見積)場所	水道局総務部総務課入札室		
落札(決定)金額	6,380,000 円	主管課	74 水質管理センター
	<small>入札(見積)価格に 10%に相当する額を加算した金額が法律上の落札(決定)金額である。</small>	最低制限価格	
工種(業種)	290 その他		円
落札(決定)業者	60000016710 (株) 福田水文センター		

## 入札（見積）経過

(単位：円)

指名(見積)業者名	入札(見積)金額						価格交渉金額
	第 1 回	最低 金額	第 2 回	最低 金額	第 3 回	最低 金額	
(株) 福田水文センター							決定
	5,800,000						
(備考)							



## 業者特定理由書

下記の理由により業者を特定する。

### 記

- |        |  |
|--------|--|
| 1 件名   | 豊平峡ダム及び定山溪ダム水質調査業務   |
| 2 業者名  | 株式会社 福田水文センター  |
| 3 特定理由 | <ul style="list-style-type: none"><li>・本業務は北海道開発局札幌開発建設部(以下、「開発局」という。)と共同で行っている継続調査であり、開発局の業務委託により採水されたダム湖水について、浄水処理に影響を及ぼす項目の水質分析を実施するものである。既に開発局はダム貯水池水質調査業務を上記業者と契約済である。</li><li>・本業務により得られた測定データは、開発局と相互補完を行っているため、同一日の同一地点においてダム湖水の採水及び測定を実施する必要がある。</li><li>・上記業者に本業務を実施させた場合、確実に同一日の同一地点においてダム湖水の採水及び測定が可能のため、履行品質が確保できる。また、開発局発注業務にて採水が行われるため、経費の削減も見込まれる。よって、競争に付するよりも有利と認められる。</li></ul> |
| 4 根拠規定 | 地方公営企業法施行令第21条の14第1項第6号に該当すると判断されるため。  |